

請願・陳情の結果 平成30年第4回定例会

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、結果をお知らせします。
請願・陳情についての議事内容等は、各付託委員会の会議録から確認できます。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	結果※
総務委員会	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	平成30年請願 第20号	不採択
	指定管理制度運用ガイドラインの作成と研修実施を求める陳情	平成30年陳情 第23号	不採択
	障害児者総合支援施設の工事の説明会実施と適切な工程管理を求める陳情	平成30年陳情 第24号	不採択
厚生委員会	受動喫煙防止条例の早期制定に関する陳情	平成28年陳情 第5号	継続審査
	品川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	平成28年陳情 第6号	継続審査
	東京都品川区における、バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	平成28年陳情 第7号	継続審査
	品川区における受動喫煙防止に関する陳情	平成28年陳情 第8号	継続審査
	放課後等デイサービスに関する補助事業等の実施を求める陳情	平成30年陳情 第21号	不採択
建設委員会	区が羽田空港増便による新低空飛行ルート撤回を国に強く要請することに関する請願	平成30年請願 第17号	継続審査
	区が羽田空港増便による新低空飛行ルート計画のアンケート調査をすること、区独自の教室型説明会を開催することに関する請願	平成30年請願 第18号	継続審査
	特定整備路線 放射2号線 現状を見直し改善を求める請願	平成30年請願 第19号	不採択
	都営地下鉄中延駅(東中延2丁目口)のエレベーターなどの設置に向け、品川区が東京都と連携して取り組むことを求める請願	平成30年請願 第21号	継続審査
	コミュニティバスの運行を求める請願	平成30年請願 第22号	継続審査
	区長が、羽田空港増便による新飛行ルートについて、国に対し見直しを求める交渉をすることに関する陳情	平成30年陳情 第12号	継続審査
	羽田空港新ルート見直しと説明会開催に関する陳情	平成30年陳情 第13号	継続審査
	コミュニティバスの運行を求める陳情	平成30年陳情 第20号	継続審査
文教委員会	学校給食の牛乳にプラスチックストローを使用しないことを求める請願	平成30年請願 第23号	採択
	すまいるスクールの利用者ニーズ把握のためのアンケート調査の実施を求める陳情	平成30年陳情 第22号	不採択
オリンピック・パラリンピック推進特別委員会	第32回オリンピック競技大会(2020/東京)における競技施設等工事において、労働災害防止および「持続可能性に配慮した調達コード(長時間労働の禁止等)」順守の徹底を求める意見書提出に対する請願	平成30年請願 第4号	継続審査

※採 択：区議会として、ご希望に賛同します。 趣旨採択：区議会として、ご希望の趣旨に賛同します。
不 採 択：区議会として、ご希望に賛同しかねます。 継続審査：区議会として、引き続き慎重に審査します。

田中さやか 議員 (ネット)



子どもの権利に基づく性教育の充実について

問 学習指導要領での指導と刑法にある性交同意年齢13歳の間にある乖離、矛盾について区の見解を問う。
答 法における解釈が指導内容に直結しなければならぬものとは捉えていない。

問 区が実施しているCAPプログラムは、いじめ・虐待などの暴力防止予防教育の中で性暴力防止も含まれ、大変有効なプログラムである。拡充を求めるが見解は？
答 プログラムを繰り返す予定はない。思いがけない妊娠を含めた妊娠相談を受け入れる区の窓口と周知は、都の妊娠相談ほっとラインや女性のための健康ホットラインの紹介が適当と考え周知を図る。

しながわネットワークの

問 産褥期についてしながわネットワークには産褥期の視点が抜け落ちている。産後の3大危機を防ぐために、区の産褥期の認識と、産褥期を具体的に理解できる情報提供を問う。
答 産前の段階での産褥期に関する情報提供については重要と考えている。今後充実させる。

問 品川区が進める児童相談所の設置計画について児童相談所設置は、関係職員や議会、近隣住民などとの合意形成を丁寧に進めることが重要。2022年開設ありきではなく、丁寧な準備を進めるべき。見解を問う。
答 一定の目標として2022年4月、これを定めて仕事を進めている。

問 羽田新飛行ルート計画について都主催の連絡会での区の発言内容について決定するプロセスを問う。
答 都から連絡会での話し合いの内容が示され、開催時点での国の対応状況も踏まえ、決定されるべきものと考え、その際の議会への報告は適宜適切に行う。
問 計画に反対する住民の反対意見を発言内容に入れるべき。見解は。
答 全ての意見に対して国に届けるといところで現在対応している。

高橋しんじ 議員 (無所属)



教育について

問 学力定着度調査と総合質問紙調査とのクロス集計からの分析は。
答 生活習慣や学習意欲と相関関係があった。また、学級に助けあふ雰囲気があると回答した児童・生徒の得点が高い傾向。

問 特別支援教室は小学校に導入3年目。約百人の児童が指導対象の拠点校がある。きめ細かい指導のために拠点校増設を。
答 拠点校新規開設の準備をしている。不登校児童・生徒の在籍校への復帰を指導するマイスクールに発達障害の子どもも通えるよう求める。新たな課題と認識している。今後柔軟に対応していく。

保育園・幼稚園の年長児向け特別支援で今年度、巡回回数が大幅増

答 加した。その成果は、保育士の専門性の向上、特別支援児への適切な支援が可能になった。入学後の継続的支援のためにも役割は大きい。

問 福祉について①児童虐待防止への区の決意を。
答 ①児童相談所の区への移管後は、新たな権限も活用し、児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応に全力で取り組む。②4法人と連携。まちづくりについて①八潮地区②立会川地区・勝島地区の将来へのまちづくりの道筋は。
答 ①住環境が保全され、魅力ある地区となるよう検討する。②勝島・京浜運河を活かしたまちづくりや立会川駅の活性化等を目標とするまちづくりビジョンを今年度末に策定。③高潮に対する当面の効果がある対策の一つ。都と協議する。

その他の質問

・モンゴル高等専門学校との交流事業を通じた区内中小企業雇用支援について